

新たな県立高等学校再編計画の概要

—平成28年度から平成37年度までの10か年計画—

岩手県教育委員会
平成28年7月

県教育委員会では、少子化に伴い生徒が減少する中で、東日本大震災津波による甚大な被害や、社会状況の変化を踏まえ、岩手の将来を担う人づくりを進めるため、様々な機会をとらえ、高校再編に向けた県民の皆様の御意見を伺ってきました。

再編計画はいただいた意見を十分に勘案し、具体的な県立高等学校の再編を示したものです。
この再編計画を基本として、本県における高校教育のより一層の充実を図ります。

高校教育の現状と課題

教育を取り巻く環境の変化

- インターネット社会の進展、グローバル化、高度情報化

東日本大震災津波による被災

- 甚大な人的、物的被害の発生
- 震災に起因するストレスを抱えている生徒
- 震災直後の避難所等での献身的な活動

生徒の状況

- 基礎学力の定着が不十分
- 特別な支援を必要としている生徒の増加
- 忍耐力、協調性等の資質を有する生徒

定時制課程等の役割の変化

- 働きながら学ぶ生徒の減少
- 不登校経験者の増加

少子化による生徒減少

- | | |
|-------------------|------------------|
| ○ 中学校卒業予定者数の減少 | ○ 学校の小規模校化 |
| [平成12年3月] 17,874人 | 1校当たりの平均学級数 |
| [平成27年3月] 12,088人 | [平成27年度] 4.05学級 |
| [平成37年3月] 約9,800人 | [平成37年度] 約2.90学級 |
- H27→H37 約2,280人減 約57学級の減に相当 (1学級40人換算)

現状のまま、生徒の減少が進んだ場合、

- ・ 生徒の多様な進路希望に対応する科目の開設が困難に。
- ・ 設置する部活動の数、部員数が減少し、活動自体が困難に。
- ・ 生徒が、多くの人と交流し、集団の中での経験を積むことが不足しがちに。

このような課題が、小規模となる大半の高校で顕在化し、**生徒の希望する進路実現が難しくなり、さらに教育の質の維持も困難となることにより、さらなる生徒減少を招くことが懸念されます。**

このような社会状況の変化や、生徒減少に対応していくためには、
様々な取組を通じて、高校の魅力を高めていくことが求められます。

魅力ある高校づくりに向けて

◎ 岩手の高校教育の目的

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成 = 自立した社会人としての資質を有する人財(生徒)の育成

○ 今後の高校教育の方向性

- ・ 全ての生徒へ生活面、学習面における基礎・基本の定着と基礎・基本を活用する力を育成する取組の推進
- ・ 様々な分野におけるリーダー、担い手を育成する視点を重視しつつ、生徒の進路実現に向けた取組を推進
- ・ 復興教育を一層推進し、地域産業、今後のいわての復興・発展を支え、ふるさとを守る人材を育成
- ・ 義務教育でのキャリア教育を基本に、生徒の進路意識を高め、自立した社会人としての資質を有する人材を育成
- ・ 生徒減少が見込まれる中で、適切な教育環境の整備の推進

生徒の希望する進路の実現、自己実現ができる高校を目指し、本県の高校教育のより一層の充実を図っていきます。

学校行事、部活動等に
活発に取り組める学校

生徒自らの進路希望に
応じた学習のできる学校

生徒、教師との幅広い出会いや
集団活動を通じ、切磋琢磨できる学校

このような方向性の中で、特に適切な教育環境の整備の推進を図るため、「新たな県立高等学校再編計画」を平成28年3月29日に策定いたしました。

再編計画の4つの視点

1 生徒や保護者の期待に応える魅力ある学校づくりの推進

地域との連携をより一層推進することで、地域への理解を深め、前計画で導入した新しいタイプの学校も含め学校の魅力を高めるとともに、人口減少社会における今後の岩手の復興、発展を支え、ふるさとを守る人材の育成を進めます。また、各市町村の地方創生の取組を踏まえつつ、地域との連携を図ります。

2 生徒数が減少する中での望ましい学校規模の確保と適切な配置

生徒数が減少する中においても、高等学校としての教育の質を維持、向上させていくことが可能となるよう、地域の実情や県全体のバランス等に考慮しながら、望ましい学校規模(原則1学年4～6学級程度)の確保と適切な配置に努めます。

3 広大な県土等の地理的条件を考慮した教育の機会の保障

望ましい学校規模を実現する一方、教育の機会の保障の観点も重要であり、広大な県土という地理的条件、公共交通機関の状況等によって、近隣高校への通学が極端に困難な地域に存在する高校については、1学級であっても一定の規模まで存続させることとします。

4 復興教育の充実

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた本県において取り組んでいるいわての「復興教育」プログラムに基づき、防災教育も含めた復興教育のさらなる充実を図ります。

県立高等学校配置の考え方

生徒数の減少等を見通しながら、高校教育の質の維持、向上に向け、県全体のバランスを考慮し、望ましい学校規模の確保と適切な配置に努めます。なお、配置にあたっては、教育の機会の保障の観点にも充分配慮します。

1 学校規模の基準

生徒の多様な学習ニーズに応え、集団生活による社会性を育成する観点から、望ましい学校規模は「原則1学年4～6学級程度」とします。ただし、生徒数が一層減少する状況にも考慮し、学校の最低規模は1学年2学級とします。

2 周辺の高校への通学が極端に困難である学校の取扱い

近隣の高校までの距離が遠く、仮に統合した場合、公共交通機関での通学が極端に困難となることが見込まれる地域の高校については、地域の学びの機会を保障するため、学校の最低規模の特例として1学級でも存続させます。

特例校：葛巻、西和賀、岩泉

3 極端に生徒が減少した場合の統合の基準

特例となる1学級校であっても、極端に生徒数が減少した場合には、教育の質の維持が著しく困難となるため、入学者数が2年連続で20人以下となった場合には、原則として、翌年度から募集停止とし、統合を進めます。

また、現在の1学級校(大迫、花泉、住田、宮古北)にもこの統合基準を適用します。

4 統合に伴う校舎制の導入

一方、高校間の移動が容易で、かつ、大幅な定員割れが生じている場合には、既存施設の有効活用も念頭に、複数の校舎を使用し、1つの学校として機能させる校舎制も視野に入れて統合を進めます。

【前期再編プログラム総括表】

計画期間(H28～H32 5年間)

タイプ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
専門高校					
総合的な 専門高校					宮古商業 宮古工業
普通科 専門学科 併置高校					遠野 遠野緑峰
総合学科 専門学科 併置高校					久慈東 久慈工業
普通高校		※ 表外(2)のとおり			
学科改編 コース等見直し (学級減)			西和賀 水沢農業 一関第二 釜石商工	平舘 花巻南 水沢工業 大船渡東 宮古水産	不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南 一関工業 一戸
学級減		大槌 伊保内	葛巻 大船渡 種市	盛岡第四 前沢 大東 山田 大野 久慈 福岡	盛岡第三 盛岡北 一関第一 高田 釜石 宮古
全日制学校数	63	63	63	63	60
全日制学級数	255	253	245	233	216
(定時制)			宮古ブロック	盛岡ブロック	

- (1) 統合予定校では、地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成30年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討します。
- (2) 1学年1学級の普通高校では、直近の入学者数が2年連続して20人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合します。
- (3) 学科改編、学級減等は、原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討します。

【前期再編プログラムの統合の概要】

対象校（設置学科及び学級数）	統合時期	統合の概要（考え方）
遠野（普通4） 遠野緑峰（農業1、商業1）	平成32年度	【設置学科 普通4・農業1】 ブロック内の生徒数の減少が続く中、遠野緑峰高等学校は今後2学級規模の維持が困難となることが予想されます。 このため、遠野高等学校と統合することで、望ましい学校規模を確保し、生徒の多様な進路希望に対応できるよう、教育内容のより一層の充実を図ります。 統合形態については、校舎制の導入も検討します。
宮古商業（商業4） 宮古工業（工業3）	平成32年度	【設置学科 商業3・工業2】 ブロック内の生徒数の減少が続く中、専門高校である宮古商業高等学校、宮古工業高等学校を統合することで、商業、工業のそれぞれの良さを生かしながら、職業教育の充実を図ります。 統合形態については、校舎制の導入も検討します。
久慈東（総合5） 久慈工業（工業2）	平成32年度	【設置学科 総合5・工業1】 ブロック内の生徒数の減少が続く中、久慈工業高等学校は今後2学級規模の維持が困難となることが予想されます。 このため、久慈東高等学校と統合することで、望ましい学校規模を確保するとともに、総合的な産業教育の充実等も含めた職業教育の充実を図ります。 統合形態については、校舎制の導入も検討します。

※ 統合形態・校名等は、平成30年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期を予定どおりとするか検討後、統合等検討委員会(仮称)を設置し、具体的に議論します。

統合を行う場合の対応

- 統合を行うことで、公共交通機関による統合先の高校等への通学の費用が大幅に増加する場合や、公共交通機関による統合先高校への通学が困難な場合等には、**地域の状況も踏まえた通学支援策を実施**します。
- 校舎制を導入する場合、生徒の校舎間の移動のためバスを運行する等、学校運営の円滑な実施に向けた環境整備を行います。

再編計画の推進に向けた今後の取組

○ 地域との連携

地域との連携について、県教委では、各地域において連携を進めようとする意向、考え方を確認しながら、地域の皆様と学校等が検討する場を設置することを考えています。

この検討にあたっては、地域にとって高校の位置づけを明確にししながら、地域と高校それぞれにプラスになり、高校の魅力向上に繋がる取組を具体化していくことを考えています。

○ 統合予定校

統合予定校では、平成30年度までの入学者の状況等の検証を行うこととしておりますが、それまでの間、魅力ある学校づくりに向けた取組や今後の高校のあり方について(統合形態等も含め)、あらかじめ市町村と打合せのうえ、高校、市町村、PTA等と意見交換を行っていきます。

○ 学科等の改編

学科等の改編については、再編計画どおり行われることを前提に高校での検討を開始し、地域の意見を伺いながら、概ね1年前を基本として、その改編や教育課程の概要を中学生、保護者にお知らせできるようにしたいと考えています。

ブロック別の再編計画

—平成28年度から平成32年度までの5か年計画—

学科改編、学級減等は原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討します。

なお、入学者で40人以上の欠員が生じた場合は、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則に基づき、学級減を検討する場合があります。

盛岡ブロック

中学校卒業予定者数 H28 4,483人 → H32 4,191人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
盛岡第一	普通 7(280) 理数		普通 7(280) 理数
盛岡第二	普通 5(200)		普通 5(200)
盛岡第三	普通 7(280)	1学級減(H32)	普通 6(240)
盛岡第四	普通 7(280)	1学級減(H31)	普通 6(240)
盛岡北	普通 6(240)	1学級減(H32)	普通 5(200)
盛岡南	普通 5(200) 体育 1(40)		普通 5(200) 体育 1(40)
不来方	普通 7(280)	1学級減(H32) 学系見直し	普通 6(240)
盛岡農業	農業 5(200)		農業 5(200)
盛岡工業	工業 7(280)	1学級減(H32) 学科改編	工業 6(240)
盛岡商業	商業 6(240)		商業 6(240)
沼宮内	普通 2(80)		普通 2(80)
葛巻 (特例校)	普通 2(80)	1学級減(H30)	普通 1(40)
平舘	普通 2(80) 家庭 1(40)	1学級減(H31) 学科改編	普通 1(40) 家庭 1(40)
雫石	普通 2(80)		普通 2(80)
紫波総合	総合 5(200)	1学級減(H32) 系列見直し	総合 4(160)
全日制15校	77学級 (3,080人)		69学級 (2,760人)
盛岡工業 定時制	工業 1(40)	統合等を視野に検 討(H31)	

〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が3,936人であり、平成37年度の募集学級数は約62学級と見込まれます。盛岡市内の高校の小規模化を避けるため、統合等の検討も想定しています。

岩手中部ブロック

中学校卒業予定者数 H28 1,953人→ H32 1,773人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
花巻北	普通 6(240)		普通 6(240)
花巻南	普通 5(200)	1学級減(H31) 学系見直し	普通 4(160)
花巻農業	農業 3(120)		農業 3(120)
花北青雲	工業 1(40) 商業 2(80) 家庭 1(40)	1学級減(H32) 学科改編	工業 1(40) 商業 1(40) 家庭 1(40)
大迫	普通 1(40)		普通 1(40)
黒沢尻北	普通 6(240)		普通 6(240)
北上翔南	総合 6(240)	1学級減(H32) 系列見直し	総合 5(200)
黒沢尻工業	工業 6(240)		工業 6(240)
西和賀 (特例校)	普通 2(80)	1学級減(H30) コース見直し	普通 1(40)
全日制 9校	39学級(1,560人)		35学級(1,400人)

〈後期計画(H33～37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が1,593人であり、平成37年度の募集学級数は約31学級と見込まれます。専門高校の定員割れも予想されるため、地域の産業振興方向等も見据えた学科再編も想定しています。

胆江ブロック

中学校卒業予定者数 H28 1,313人→ H32 1,206人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
水沢	普通 6(240) 理数		普通 6(240) 理数
水沢農業	農業 3(120)	1学級減(H30) 学科改編	農業 2(80)
水沢工業	工業 4(160)	1学級減(H31) 学科改編	工業 3(120)
水沢商業	商業 3(120)		商業 3(120)
前沢	普通 2(80)	1学級減(H31)	普通 1(40)
金ヶ崎	普通 3(120)		普通 3(120)
岩谷堂	総合 5(200)		総合 5(200)
全日制 7校	26学級(1,040人)		23学級(920人)

〈後期計画(H33～37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が1,031人であり、平成37年度の募集学級数は約20学級と見込まれます。普通高校、専門高校の定員割れも予想され、機能の維持が困難となった場合には、統合等を検討することも想定しています。

両磐ブロック

中学校卒業予定者数 H28 1,257人 → H32 1,059人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
一関第一	普通 6(240) 理数	1学級減(H32)	普通 5(200) 理数
一関第二	総合 6(240)	1学級減(H30) 系列見直し	総合 5(200)
一関工業	工業 4(160)	1学級減(H32) 学科改編	工業 3(120)
花泉	普通 1(40)		普通 1(40)
大東	普通 3(120) 商業 1(40)	1学級減(H31)	普通 2(80) 商業 1(40)
千厩	普通 3(120) 農業 1(40) 工業 1(40)		普通 3(120) 農業 1(40) 工業 1(40)
全日制 6校	26学級(1,040人)		22学級(880人)

〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が955人であり、平成37年度の募集学級数は約20学級と見込まれます。専門高校の定員割れも予想され、機能の維持が困難となった場合には、近接する高校の統合等を検討することも想定しています。

気仙ブロック

中学校卒業予定者数 H28 562人 → H32 475人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
高田	普通 4(160) 水産 1(40)	1学級減(H32)	普通 3(120) 水産 1(40)
大船渡	普通 5(200)	1学級減(H30)	普通 4(160)
大船渡東	農業 1(40) 工業 2(80) 商業 1(40) 家庭 1(40)	1学級減(H31) 学科改編	農業 1(40) 工業 1(40) 商業 1(40) 家庭 1(40)
住田	普通 1(40)		普通 1(40)
全日制 4校	16学級(640人)		13学級(520人)

〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が408人であり、平成37年度の募集学級数は約11学級と見込まれます。多くの学校で定員割れすることが予想され、専門学科を中心に、地域の産業振興方向等を見据えた学科再編等も想定しています。

釜石・遠野ブロック

中学校卒業予定者数 H28 651人 → H32 531人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
釜石	普通 5(200) 理数	1学級減(H32)	普通 4(160) 理数
釜石商工	工業 3(120) 商業 2(80)	2学級減(H30) 学科改編	工業 2(80) 商業 1(40)
遠野	普通 4(160)	統合(校舎制)(H32) 学科改編	普通 4(160) 農業 1(40)
遠野緑峰	農業 1(40) 商業 1(40)		
大槌	普通 3(120)	1学級減(H29)	普通 2(80)
全日制 5校	19学級(760人)		14学級(560人)

〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が488人であり、平成37年度の募集学級数は約12学級と見込まれます。多くの高校で定員割れすることも予想され、近接する高校では統合等を検討することも想定しています。

宮古ブロック

中学校卒業予定者数 H28 782人 → H32 592人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
山田	普通 2(80)	1学級減(H31)	普通 1(40)
宮古	普通 6(240)	1学級減(H32)	普通 5(200)
宮古北	普通 1(40)		普通 1(40)
宮古工業	工業 3(120)	統合(校舎制)(H32) 学科改編	工業 2(80) 商業 3(120)
宮古商業	商業 4(160)		
宮古水産	水産 2(80) 家庭 1(40)	1学級減(H31) 学科改編	水産 1(40) 家庭 1(40)
岩泉 (特例校)	普通 2(80)		普通 2(80)
全日制 7校	21学級(840人)		16学級(640人)
杜陵高校通 信制課程宮 古分室		宮古高校に通信制 課程を設置(H30) し一体化	宮古高校通信制課程

〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が580人であり、平成37年度の募集学級数は約14学級と見込まれます。普通科高校、専門高校の定員割れも予想されるため、地域の産業振興方向等も見据えた総合的な産業高校の設置等、さらなる統合も想定しています。

久慈ブロック

中学校卒業予定者数 H28 598人 → H32 514人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
久慈	普通 5(200)	1学級減(H31)	普通 4(160)
久慈東	総合 5(200)	統合(校舎制)(H32) 学科改編	総合 5(200)
久慈工業	工業 2(80)		工業 1(40)
種市	普通 2(80) 工業 1(40)	1学級減(H30)	普通 1(40) 工業 1(40)
大野	普通 2(80)	1学級減(H31)	普通 1(40)
全日制 5校	17学級(680人)		13学級(520人)

〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が445人であり、平成37年度の募集学級数は約11学級と見込まれます。多くの高校で定員割れが予想され、近接する高校では統合等の検討も想定しています。

二戸ブロック

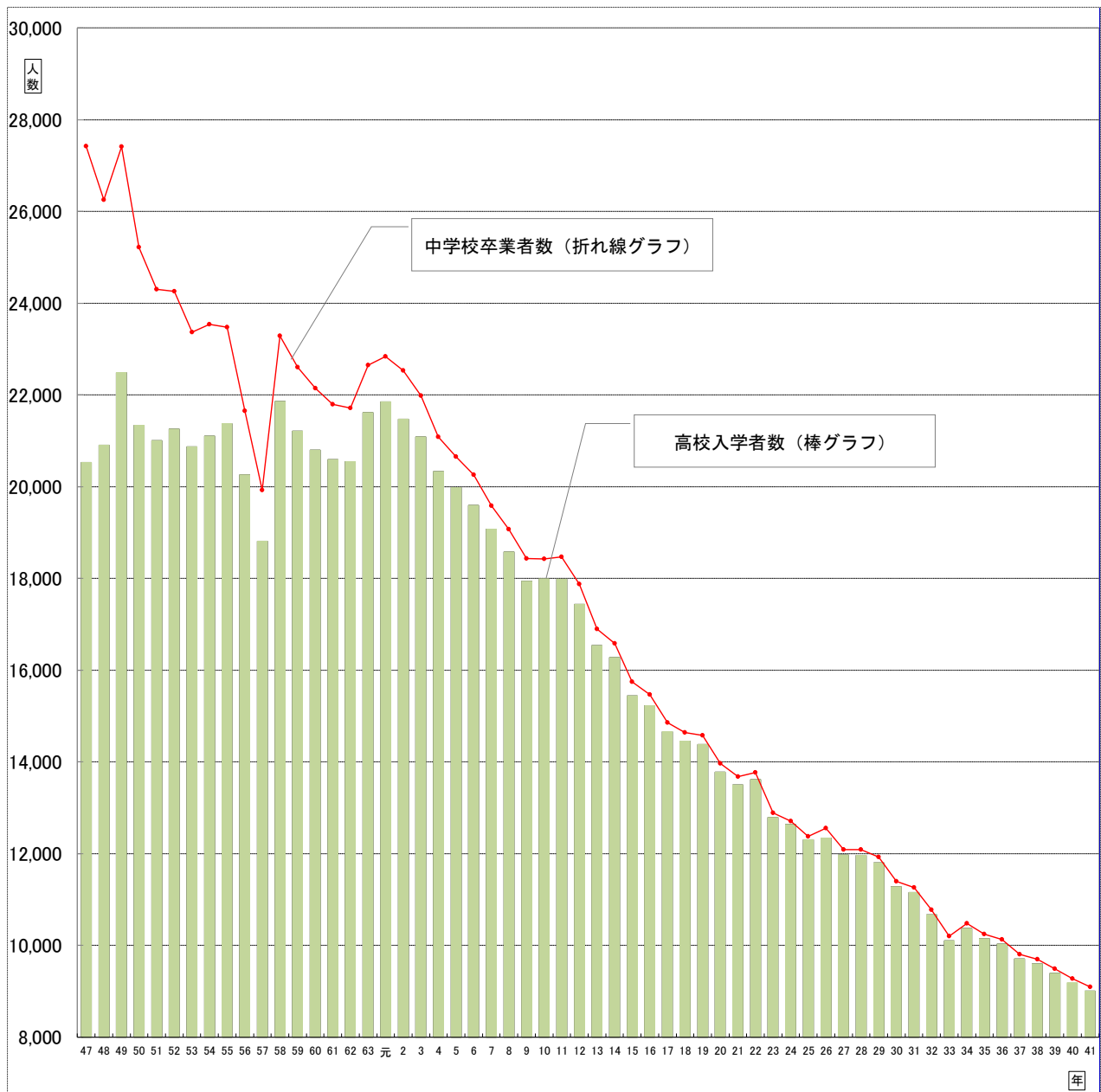
中学校卒業予定者数 H28 485人 → H32 434人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
軽米	普通 2(80)		普通 2(80)
伊保内	普通 2(80)	1学級減(H29)	普通 1(40)
福岡	普通 5(200)	1学級減(H31)	普通 4(160)
福岡工業	工業 2(80)		工業 2(80)
一戸	総合 3(120)	1学級減(H32) 系列等見直し	総合 2(80)
全日制 5校	14学級(560人)		11学級(440人)

〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が370人であり、平成37年度の募集学級数は約9学級と見込まれます。多くの高校で定員割れが予想され、近接する高校では統合等の検討も想定しています。

資料1 岩手県における中学校卒業生数及び高等学校入学者数の推移



各年ごとのデータ

年3月	昭和47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
中学校卒業生数	27,425	26,250	27,412	25,216	24,304	24,254	23,370	23,542	23,478	21,647	19,923	23,289	22,605	22,148	21,797
進学率	74.9%	79.6%	82.0%	84.6%	86.4%	87.6%	89.3%	89.6%	91.0%	93.6%	94.4%	93.9%	93.8%	93.9%	94.5%
高校入学者数	20,529	20,904	22,486	21,339	21,004	21,257	20,867	21,101	21,371	20,262	18,812	21,860	21,208	20,801	20,590
年3月	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
中学校卒業生数	21,715	22,648	22,833	22,531	21,985	21,085	20,657	20,256	19,583	19,074	18,435	18,425	18,468	17,874	16,899
進学率	94.6%	95.4%	95.7%	95.3%	95.9%	96.4%	96.7%	96.7%	97.4%	97.4%	97.3%	97.7%	97.4%	97.5%	97.9%
高校入学者数	20,543	21,617	21,847	21,475	21,084	20,329	19,983	19,595	19,068	18,574	17,941	17,993	17,987	17,432	16,541
年3月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
中学校卒業生数	16,585	15,748	15,468	14,857	14,640	14,576	13,964	13,678	13,767	12,885	12,708	12,379	12,556	12,088	12,084
進学率	98.2%	98.0%	98.4%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.9%	99.2%	99.4%	99.4%	99.4%	99.5%	99.0%
高校入学者数	16,279	15,440	15,223	14,661	14,449	14,383	13,776	13,500	13,620	12,788	12,634	12,306	12,366	12,025	11,963
年3月	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41		
中学校卒業生数	11,924	11,396	11,264	10,775	10,203	10,476	10,247	10,131	9,806	9,700	9,489	9,279	9,098		
進学率	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%		
高校入学者数	11,805	11,282	11,151	10,667	10,101	10,371	10,145	10,030	9,708	9,603	9,394	9,186	9,007		

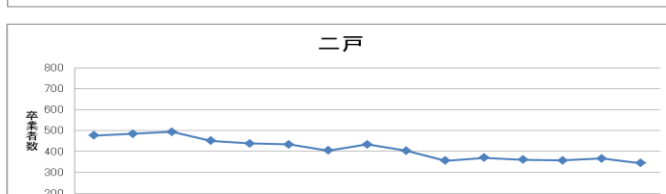
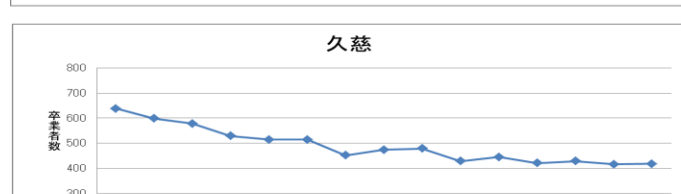
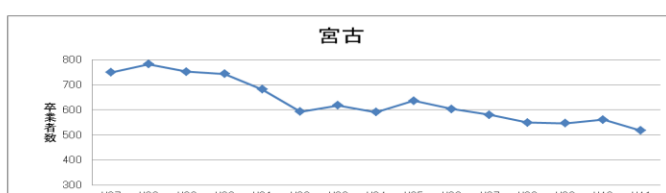
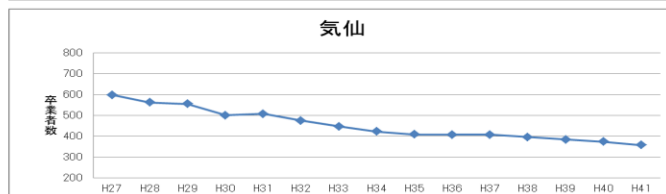
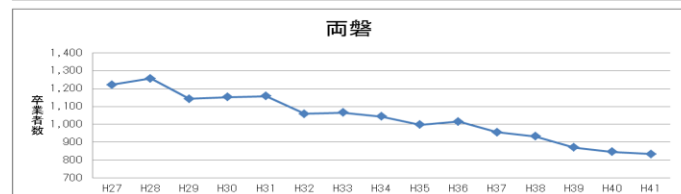
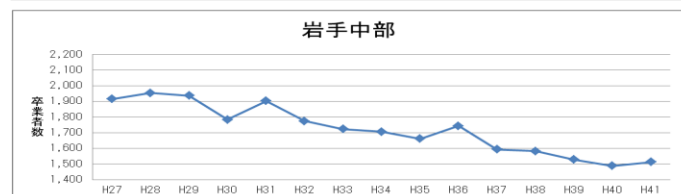
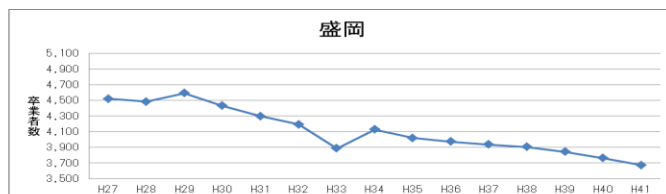
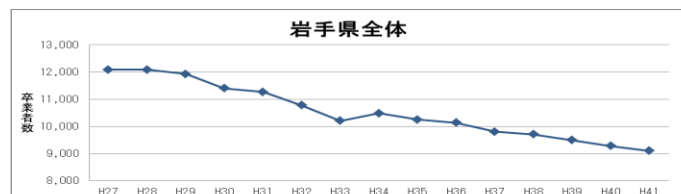
注) 中学校卒業生数及び高校入学者数

<中学校卒業生数>・昭和47年から平成27年までは実績値、平成28年以降は平成27年5月1日現在の在籍生徒数等からの推定値です。
 <高校入学者数>・昭和47年から平成27年までは実績値、平成28年以降は進学率を99.0%に固定し、高校入学者数を計算したものです。
 <進学率>・平成27年の進学率は、学校基本調査の速報値となります。

資料2 ブロックごとの中学校卒業生数の推移

(各年3月末、平成28年以降は推計値)

	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月	41年3月
盛岡	4,520	4,483 -37 -37	4,591 108 71	4,431 -160 -89	4,296 -135 -224	4,191 -105 -329	3,884 -307 -636	4,128 244 -392	4,019 -109 -501	3,973 -46 -547	3,936 -37 -584	3,904 -32 -616	3,843 -61 -677	3,760 -83 -760	3,671 -89 -849
岩手中部	1,914	1,953 39 39	1,936 -17 22	1,783 -153 -131	1,902 119 -12	1,773 -129 -141	1,723 -50 -191	1,705 -18 -209	1,660 -45 -254	1,742 82 -172	1,593 -149 -321	1,581 -12 -333	1,527 -54 -387	1,487 -40 -427	1,512 25 -402
胆江	1,314	1,313 -1 -1	1,254 -59 -60	1,234 -20 -80	1,184 -50 -130	1,206 22 -108	1,077 -129 -237	1,137 60 -177	1,103 -34 -211	1,097 -6 -217	1,031 -66 -283	1,056 25 -258	1,044 -12 -270	990 -54 -324	969 -21 -345
両磐	1,222	1,257 35 35	1,143 -114 -79	1,152 9 -70	1,158 6 -64	1,059 -99 -163	1,066 7 -156	1,044 -22 -178	998 -46 -224	1,015 17 -207	955 -60 -267	932 -23 -290	870 -62 -352	846 -24 -376	833 -13 -389
気仙	598	562 -36 -36	555 -7 -43	500 -55 -98	508 8 -90	475 -33 -123	447 -28 -151	423 -24 -175	409 -14 -189	408 -1 -190	408 0 -190	396 -12 -202	384 -12 -214	374 -10 -224	358 -16 -240
釜石・遠野	656	651 -5 -5	621 -30 -35	573 -48 -83	583 10 -73	531 -52 -125	532 1 -124	540 8 -116	540 0 -116	509 -31 -147	488 -21 -168	501 13 -155	490 -11 -166	479 -11 -177	477 -2 -179
宮古	749	782 33 33	752 -30 3	743 -9 -6	681 -62 -68	592 -89 -157	618 26 -131	591 -27 -158	636 45 -113	603 -33 -146	580 -23 -169	549 -31 -200	546 -3 -203	561 15 -188	517 -44 -232
久慈	638	598 -40 -40	578 -20 -60	529 -49 -109	514 -15 -124	514 0 -124	451 -63 -187	474 23 -164	478 4 -160	428 -50 -210	445 17 -193	420 -25 -218	428 8 -210	416 -12 -222	417 1 -221
二戸	477	485 8 8	494 9 17	451 -43 -26	438 -13 -39	434 -4 -43	405 -29 -72	434 29 -43	404 -30 -73	356 -48 -121	370 14 -107	361 -9 -116	357 -4 -120	366 9 -111	344 -22 -133
全県 対前年比	12,088	12,084 -4 -4	11,924 -160 -164	11,396 -528 -692	11,264 -132 -824	10,775 -489 -1,313	10,203 -572 -1,885	10,476 273 -1,612	10,247 -229 -1,841	10,131 -116 -1,957	9,806 -325 -2,282	9,700 -106 -2,388	9,489 -211 -2,599	9,279 -210 -2,809	9,098 -181 -2,990



※ グラフの卒業生数(縦軸)の数値は、地区によって異なります。